第３学年Ｅ組　保健体育科学習指導案

日　時：１０月３０日（金）
　　１４：００～１４：５０
場　所：体育館
授業者：宇野　大輔

（１）単元名　球技「ハンドボール」

（２）ねらい

仲間と連携してゴール前の空間を使った攻め方を考え、仲間に伝えることができるようにする。

（３）本時における体育科で目指す生徒の姿

・スペースを作り出すために仲間に考えや気付いたことを伝え合うなかで、より良い動き方や連携の仕方を試行錯誤する姿

（４）展開（第８時／全１０時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入 見通しをもつ 課題を解決する 自己の学びを振り返る	**〇準備、準備運動** ・遊びを通して運動の基礎となる動きを身に付ける。 **〇ドリル練習** ・基本的な技能を高める動きを行い、主運動に繋げる **〇チーム計画会** 点をとるために、スペースを作り出して攻めるゲームをしよう。 【追究の視点】⇒「いつ」「どこ」「何を」「どのように」 動き方、タイミング、場所、仲間の動きに対して 「１回動いた後も、スペースを作り出すために相手がいないところへ動き続けよう」 「いつ動き出せばよいか、タイミングを合わせて動けるようにしよう」 **〇前半練習（課題別練習）** ・チーム課題に応じた練習を選んで取り組む。 〔想定される活動例〕 「いつどこでどんな動きをするとよいかもっと明確にしたい」 →【パターン練習】役割に応じた動き方を、仲間と連携しながら確かめる 「動きのなかでスペースを見つけたり作ったりしたい」 →【DF ありの攻め】実践に近い状況で動きを確かめる 「攻めに変わった時に相手が戻る前のスペースを使いたい」 →【全面の攻防】速攻場面でのスペースの作り出す動き方を確かめる **〇中間振り返り** ・前半練習をゲームに活かすために、前半の実態から課題を再確認する。 「試合でも〇〇さんの動きをきっかけに動いてみよう」 「周りも声を掛け合って、相手のいないところへ動き続けよう」 **〇後半練習（練習ゲーム）** ・３分×３試合 ・試合間を活用し、１試合目の様相から２試合目の課題を確認する 「サイドにボールを入れることで相手が広がっているから、そこから中央の空いたところを攻め続けよう」 「一回動いた後、もう一回離れたりスペースに走り込んだりし続けよう」 **〇チーム反省会** ・チーム（個人）課題を振り返る。 ・課題に向かう中での変容や新しく生まれた課題を、具体的な場面やデータをもとに共有する。 ・サイドの人が位置を外に取り、そこにボールを回すことで DF の間を広げて、できたスペースに走り込んだり、空いている人にパスを回したりして、シュートチャンスを作ることができた。 ・マイボールになった時に、ポジションに応じて攻めることでスペースが生まれて、パスが繋がりやすくなりシュートが増えた。 **〇全体反省会** ・本時を通して、課題解決に向けて探究していた良い学び方を全体に共有する。 **〇片付け**	**【研究内容１−①】** ・本時の出口のイメージや追究の視点を示すことで、活動を見通すことができるようにする。 ・リーダーと課題を共有することで、生徒自身が課題や練習方法を決める授業展開にできるようにする。 **【研究内容１−②・③】** ・課題に応じた練習方法を選択させることで、リーダーを中心にチームの実態に合わせてスペースを作るための試行錯誤ができるようにする。 **【研究内容２−①】** ・チーム課題を問いかけ続けることで、常に課題解決に向かう練習になるよう意識付ける。 ・前半練習を振り返ることで、ゲームで大切にする視点を明確にして臨むことができるようにする。 **【研究内容２−②】** ・「なぜできたのか」「どうしたらもっとうまくいくのか」など理由や根拠に視点を向けることで、学び方の評価ができるようにする。 **【研究内容２−①】** ・追究の視点をもって動画を見たり、具体的な場面を示して振り返ったりすることで、成果や課題に根拠をもつことができるようにする。 **【評価規準】** **思考・判断・表現** 点を取るためにスペースを作り出して攻める動き方を考え、仲間に伝えている。 **【評価方法】** 記述・発言・行動観察